

緑のセンターだより

No.138

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel:0166-65-5553 Fax:0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成24年10月1日

講習会のご案内（お申込み・受付は前月の20日から）

「庭木の冬囲い」

とき 平成24年10月13日（土）
午後1:30～3:30 定員20名

講師 公園緑地協会職員



「庭木の冬囲い」

とき 平成24年10月20日（土）
午後1:30～3:30 定員20名

場所 常磐公園管理棟



「庭木の雪吊り」（基礎）

とき 平成24年10月28日（日）
午後1:30～3:30 定員20名

講師 公園緑地協会職員

「神楽岡公園自然観察会」-秋の公園を楽しもう-

とき 平成24年10月14日（日）
午後1:30～3:30 定員30名

講師 旭川みどり21の会

代表 成田一芳さん



「落ち葉で作るかんたん堆肥」-腐葉土づくり-

とき 平成24年10月21日（日）-実習-
午後1:30～3:30 定員20名

講師 緑のセンター相談員



「押花年賀状を作ろう」-実習-

とき 平成24年11月18日（日）教材費500円
午後1:30～3:30 定員20名

講師 押花サークル“つくしんぼ”代表 加藤迪子さん

「果樹の剪定と栽培管理」-ブドウほか落葉果樹-

とき 平成24年11月25日（日）
午後1:30～3:30 定員50名

講師 フlowerマスター 佐藤吉光さん

「クリスマスからお正月の寄せ植え」

とき 平成24年12月2日（日）教材費2000円
午後1:30～3:30 定員20名

講師 フlowerマスター 山本裕美さん

展示会のご案内（初日は午後から、最終日は4時まで）

「温室の植物写真展」

10月1日～21日

道新文化写真スクール

「旭川市の公園絵画展」

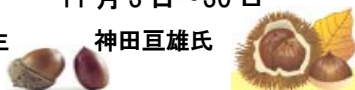
10月23日～28日

旭川市内の小・中学生

「木の実・草の実写真展」

11月3日～30日

神田亘雄氏



桜の植樹会

10月14日（日）10:00-12:00

募集数：団体5組、個人20名

参加料：無料（作業できる服装）

募集期間：9月20日～10月10日

集合場所：公園河川敷沿い駐車場

【休館日のご案内】

4月～10月は第2・第4月曜日が休館日です（祝日の場合は翌日）

11月～3月は毎週月曜日が休館日です（ " ）

〈園芸の基礎知識〉

家庭園芸での土の種類

～基本用土と補助用土～

一般に土の種類といえば、「庭土」や「畑土」に用いられる火山噴火で堆積した「火山灰土」や川から運ばれ堆積した「沖積土」などですが、家庭園芸では鉢やプランターなどのコンテナ栽培に使用する用土を意味します。ここでは「基本用土」と「補助用土」に分けて簡単に説明します。

◎基本用土の種類

基本となる用土で、主な用土の種類を下表にまとめました。

用土名	通気性	保水性	保肥性	特徴など	用土名	通気性	保水性	保肥性	特徴など
赤玉土	◎	◎	◎	関東ローム層の赤土をふるい分けた土で肥料分無く弱酸性	砂	◎	△	△	一般的には川から採れる川砂。山砂では「桐生砂」などが販売
鹿沼土	◎	◎	○	栃木県鹿沼地方産出の火山灰土の軽石で強酸性	水苔	◎	◎	◎	湿原に生えるコケ類を乾燥させたもの

※記号の◎は良い、○は普通、△は悪いで、おおよその目安としてください。

◎補助用土の種類

基本用土の不足部分を改良するために用いられる用土で、主な用土を下表にまとめました。

用土名	通気性	保水性	保肥性	特徴など	用土名	通気性	保水性	保肥性	特徴など
腐葉土	◎	◎	◎	広葉樹の落ち葉を腐熟させたもので有機物富む	パーライト	◎	○	△	真珠岩、黒曜石を高温高压で焼成したものの軽量
ピートモス	○	◎	○	水苔が堆積し腐植したもので、有機物富むが強酸性、一般販売品は酸度調整済	ココナッツピート	○	◎	○	ヤシ殻を淡水で塩分処理し粉碎乾燥したもので繊維質豊富、塩分含有に注意
バーミキュライト	○	◎	◎	ひる石を高温焼成し膨張させたもので薄板層状軽量	堆肥	◎	◎	◎	藁、落葉、野菜くずなどを腐熟させたもので主に庭や畑で使用

※記号の◎は「良い」、○は「普通」、△は「悪い」で、おおよその目安としてください。

(参考資料：北海道新聞社発行「北海道ベランダと室内の園芸」、住友化学園芸 KK「園芸の基礎知識」)

緑の相談 QアンドA (12)

今年、庭にダリアを植えて花を楽しみましたが、掘り上げ時期と貯蔵方法を教えてください。

強い霜（旭川の場合は11月上旬頃）で地上部の茎や葉が枯れたら地上部5cmくらいで茎を切り、天気の良い午前中に茎から30cmほど離れた所から球根に傷つけないよう丁寧にスコップなどで土を付けたまま掘り上げます。風通しの良い日陰で半日ぐらい乾かしてから、土を落さずに段ボール箱や発泡スチロール箱などに入れて、5℃内外が保てる室内などで春まで貯蔵します。また、土を落として湿らせたオガクズなどで保存も可能ですが、乾き過ぎなどで芽が出ないこともありますので注意が必要です。

(参考資料：北海道新聞社刊「北海道四季の園芸なんでも百科」、「新版北海道の庭づくり花づくり」)



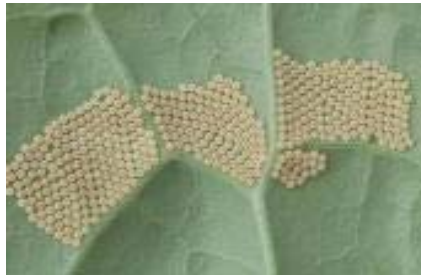
※ホームページ (<http://www.asahikawa-park.or.jp>) に「花と緑の相談コーナー (Q & A)」を掲載しています。こちらをご利用ください。

植物の病害虫

その15 「ヨトウムシ（夜盗虫）類」

1 加害される植物

キャベツ、ハクサイ、ダイコンなどのアブラナ科植物、エンドウ、ニンジン、ウリ類、ネギ類、レタス、アスパラガス、ミツバ、イチゴ、ダリアなど広範囲に植物の葉を暴食します。



葉裏に産み付けられた卵塊



若齢幼虫



老齢幼虫

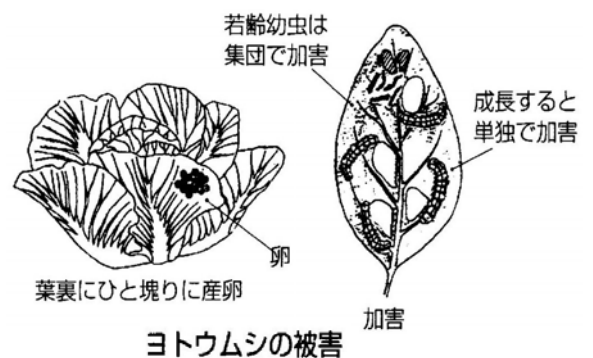
2 被害と生態

若齢幼虫は葉裏から薄膜状に食害します。少し成長すると表面まで貫通して食害し、不規則な網目状の食害痕を作り、さらに成長すると大型の食害痕を残します。葉は太い葉脈だけが残りささらを立てたようになります。大量に発生して食餌が乏しくなると、葉の中筋、茎、根までも食害し、一か所の畑を食い尽くすと群れをなして他の畑に移動します。

キャベツやハクサイでは結球しなくなったり、幼虫が内部まで食害して腐敗させたりするなど、著しく商品価値を低下させます。

普通は年2回の発生で、蛹態で地中5cm内外の深さに越冬します。翌春6月上旬頃から羽化し、6月中下旬に成虫の発生最盛期になります。羽化後数日すると雌は約1週間続けて産卵し、葉裏に数十～百数十粒の卵を塊にして産み付けます。卵期間は約10日でふ化した幼虫は集団をなして昼夜の別なく食害します。1～2齢幼虫の間は「尺とり」状に歩行し、次第に分散します。

4齢期になると、昼間は作物の根際の地中、地表の葉の下、株元、心葉の間などに潜み、夜間に出てきて茎葉を暴食します。いわゆる「夜盗虫」です。約1か月の幼虫期間の後、地中で蛹化します。蛹期間約3週間で8月上旬頃から第2回成虫が現れます。第2世代幼虫は8月下旬～10月下旬まで加害し続けて蛹化します。加害する最盛期は9月下旬頃です。



3 防除方法

- (1) 6月20日頃になるとアブラナ科やマメ科など、食害を受けやすい植物の葉裏などをよく観察し、卵塊の有無や場所を把握して幼虫の発生時期を予測します。
- (2) 幼虫の発生初期（6月下旬～7月上旬、および8月下旬～9月中旬）に7～10日間隔で薬剤を散布します。老齢幼虫になると防除は困難です。

春咲き球根を植えよう

今、園芸店にはたくさんの春咲き球根が並んでいます。10月いっぱいが植え時です。
長い冬から開放されたお庭で春一番の花を楽しみませんか。

「スプリングエフェメラル」と呼ばれ春先に花を咲かせ、夏までに葉を出してあとは地下で過ごす花です。「春のはかないもの」「春の短い命」と訳されていますが、「春の妖精」がぴったりの花です。

スノードロップ ヒガンバナ科

草丈が10cm前後で、雪解けとともに「雪の雫」という名のとおり可憐な花を咲かせます。花色は白地に緑と黄の組み合わせしかありませんが、微妙に違う100以上の品種があるそうです。寒さに強く数年植えっぱなしできる人気種です。



チオドノグサ ユリ科

早春に開花するため欧米では重要な庭園植物です。丈夫で育てやすく数年は植えっぱなしできます。青やピンクの花びらで中央の白色が生える花です。

プーシキニア（プスキニア） ユリ科

白に青条の筋が入った1センチ位の花が穂咲きになります。草丈が10～15cmで冷涼な気候を好み、育てやすいのでぜひ植えてみたいです。群生で植えると見栄えがします。

アネモネ キンポウゲ科

青、ピンク、白など美しい花を早春に楽しませてくれます。草丈は15cm前後で地際に開花する塊茎性の種類です。早春の庭で楽しみたい花です。公園でよく見かけるニリンソウやキクザキイチゲと同種です。

シラー ユリ科

美しい濃青色やピンク系の花で早春から咲き始め、春が開花のピークになります。耐寒性があり植えっぱなしにできる小球根です。

展示室の植物（45）



ホウオウボク（鳳凰木） 英名 ロイヤル・ポインシアナ マメ科 テロニクス（ホウオウボク）属

マダガスカル原産の半落葉高木で10m以上の高さになります。枝は傘のように広がり（羽状複葉）、開花期には全体が花で包まれるそうです。きれいな花でカエンボク（火炎木）、ジャカランダ（紫雲木）と並び世界三大花木の一つになっています。

当温室では開花を待ち望んでいますが、まだ一度も咲いていません。温室内で涼しげな葉を大きく蔓延（はびこ）らせて生育しています。